



環境経営紹介 環境アニュアルレポート2023

シャープNECディスプレイソリューションズ株式会社

2023年8月

• 環境方針	• • • P 3
• 環境への取り組み	• • • P 4
• 会社概要	• • • P 5
• 製品概要（ラインナップ）	• • • P 6
• 環境経営推進体制と環境活動	• • • P 7
• 環境ISO認証	• • • P 8
• 環境経営活動状況（製品活動）	• • • P 9
• 環境配慮型製品の創出	• • • P 10
• 製品リサイクルへの取り組み	• • • P 11
• グリーン調達の推進	• • • P 12
• 環境経営活動状況（事業所活動）	• • • P 13
• 環境負荷低減活動（エネルギー使用量／廃棄物排出量）	• • • P 14、 15
• 環境意識啓発コンテンツ 社内情報発信	• • • P 16
• 従業員への啓発・教育活動	• • • P 17
• 社会貢献活動（地域との共同活動）	• • • P 18
• SDGsへの貢献活動	• • • P 19

当社は、環境負荷を低減させながらの事業の推進、つまり環境経営を実践していくために、持続可能な社会の実現に貢献することを理念とした環境方針を定めております。

具体的な6つの行動指針に基づいて、環境に配慮した最適な事業所の運営、環境配慮型の製品、サービスの創出に努力してまいります。

【環境理念】

当社は、環境問題を経営の重点課題として位置づけ、環境配慮型の製品やソリューションの提供を通じ、持続可能な社会の実現に貢献します。

【行動指針】

1. 環境マネジメントシステムの継続的な改善により、環境への負荷を低減する事業活動を目指します。
2. 製品のライフサイクル全体を通じた環境負荷の低減に努め、環境に配慮した製品やソリューションの提供を行います。
3. 汚染の予防、持続可能な資源の利用、気候変動の緩和及び適応、生物多様性及び生態系の保護に取り組みます。
4. 環境に関する情報を積極的に公開し、社会とのコミュニケーションを図ります。
5. 環境法規制の順守はもとより、環境に関する要求や要請にも積極的に取り組みます。
6. 環境意識を高揚する啓発や教育を行い、持続可能な社会に貢献する人材を育成します。

制定 2022年 9月29日

シャープNECディスプレイソリューションズは、持続可能な社会作りに貢献する企業を目指し、環境への取り組みを行っております。

当社のディスプレイ商品と映像ソリューションは、交通機関、商業施設、オフィスや教育現場、映画館という身近なシーンから、安全で快適な生活を支えるインフラを見守るセーフティ向けまで、世界120を超える国と地域で使用されています。

「省エネで明るく大画面」「長寿命・メンテナンスフリー」「小型・軽量」というお客様のご要望と、環境配慮型の製品開発を両立させるべく、当社では、低消費電力の追求、レーザー光源の搭載、部品を再利用しやすい設計、有害な化学物質の不使用化など、環境配慮型の技術を積極的に採用しています。

また、従業員はオフィスにおける節電・省エネ、廃棄物の削減、会議のペーパーレス化・オンライン化などにより環境負荷の低減を促進するとともに、当社の主要拠点である湘南テクニカルセンター近隣の清掃、全社員向けの環境教育等を通じ、環境意識のさらなる啓発・定着にも取り組んでいます。

環境に配慮した事業は、海外でも評価されています。環境への負荷を最小限に抑えた修理サービスは、サステナビリティに貢献するとしてドイツで賞を受賞しました。

当社は2020年11月にシャープとNECの合併会社として「シャープNECディスプレイソリューションズ」に生まれ変わりました。

長年NECグループで培ってきた高い技術力に加え、シャープグループの推進する「グリーンプロダクト」コンセプトに基づき、パートナー企業やお客様とともに、環境性能面でも他社に先んじた製品やソリューションの開発に従来以上に注力することで、今後も社会に貢献してまいります。

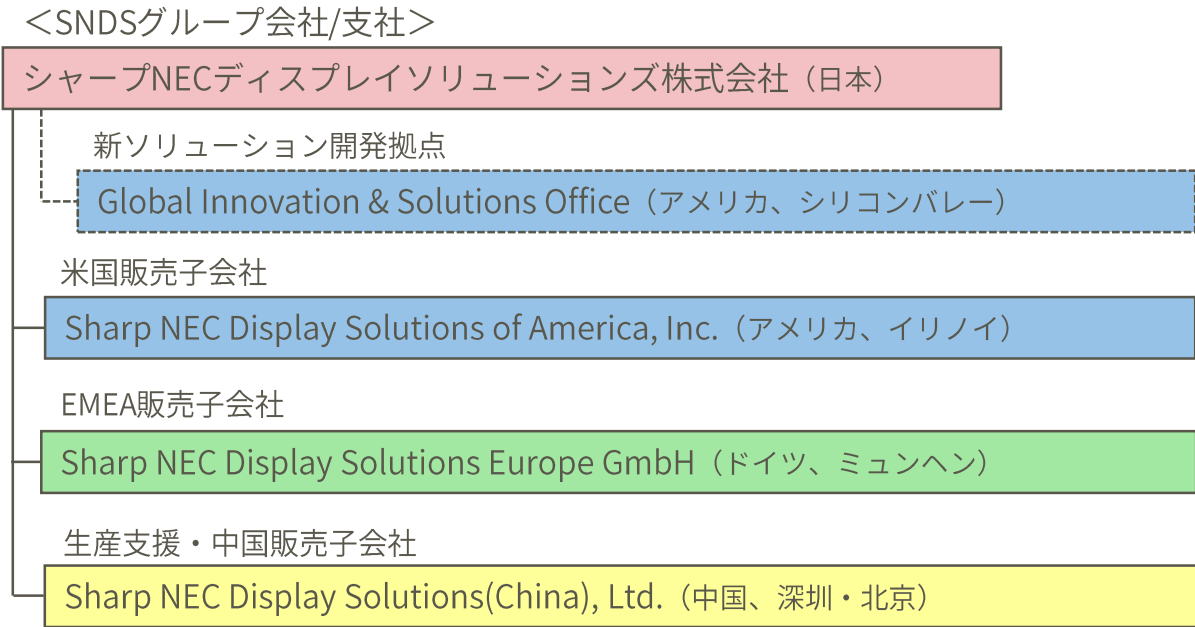
シャープNECディスプレイソリューションズ株式会社
環境担当執行役員 皆川 泰紀



清流酒匂川と湘南テクニカルセンター

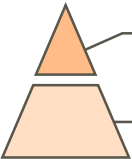
シャープNECディスプレイソリューションズ株式会社

事業内容	プロジェクター／ディスプレイモニター等の映像表示装置 および映像表示ソリューションの設計、開発、製造、販売、 保守
本社所在地	東京都港区三田一丁目4番28号（三田国際ビル）
開発/スタッフ	神奈川県足柄上郡大井町西大井686-1 （NEC湘南テクニカルセンター）
資本金	30億円（シャープ、NEC出資）
従業員	414名（国内） 794名（世界連結）（2022年度末）
売上高	750億円（2022年度 世界連結）



※2023年7月時点

当社は以下の企業理念とビジョンを掲げ、事業を推進しております。

- 企業理念：「お客様に感動と満足をいただけるクオリティの高い映像ソリューションを提供します」
- ビジョン：「私たちは豊かな映像を通じて「人・心・空間」をつなぎ 感動のある新たな日常を作ります」

製品概要（ラインアップ）

当社製品のラインアップの詳細は当社Webページ (<https://www.sharp-nec-displays.com/jp/display.html>)をご覧ください。



スタンダードモデル

コンパクトさを追求しながら、画質や省エネにもしっかり配慮
接続・設置・調整、操作性に優れたモデル。



短焦点モデル

投写距離を十分とれない小さな会議室や教壇スペースでも、
大画面投写を可能にする短焦点プロジェクター。



プロフェッショナルモデル

常設・可搬両方で幅広い設置ニーズに応え、
明るい会議室や教室でも使いやすい、大空間対応多機能プロジェクター。



DLP Cinema®プロジェクター

映像の質感までを伝える表現力、プロの現場における確かな信頼性で、
さまざまなシアターに対応可能なDLP Cinema®プロジェクター。



会議・ミーティング向け／デジタルサイネージ向け パブリックディスプレイ

さまざまな業種・用途で威力を発揮し、
高い信頼性と耐久性を誇る大画面ディスプレイ。



LEDマルチスクリーン

明るい環境下でも色鮮やかで視認性が高く、
継ぎ目のないシームレスな大画面マルチスクリーンを構成する
屋内用／屋外用フルカラーLEDディスプレイ。



ITディスプレイ

先進のエコロジーと使いやすさを両立。
利用シーンと用途に合わせ、充実のラインアップ。



ビジネスPCセクション

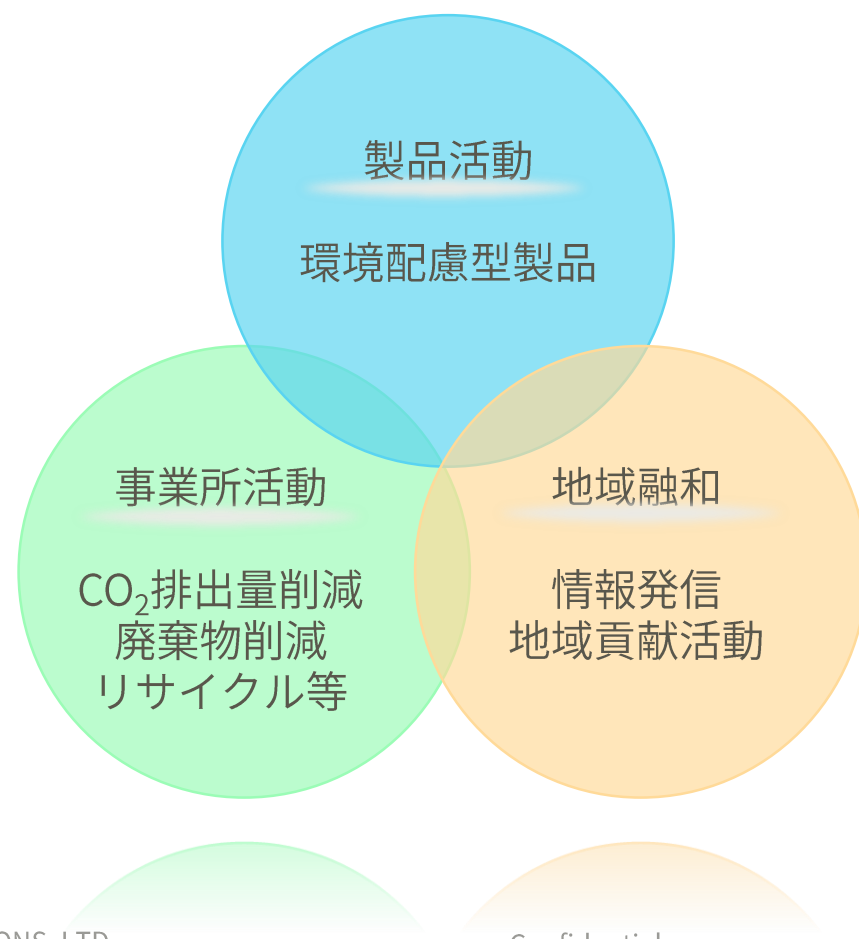
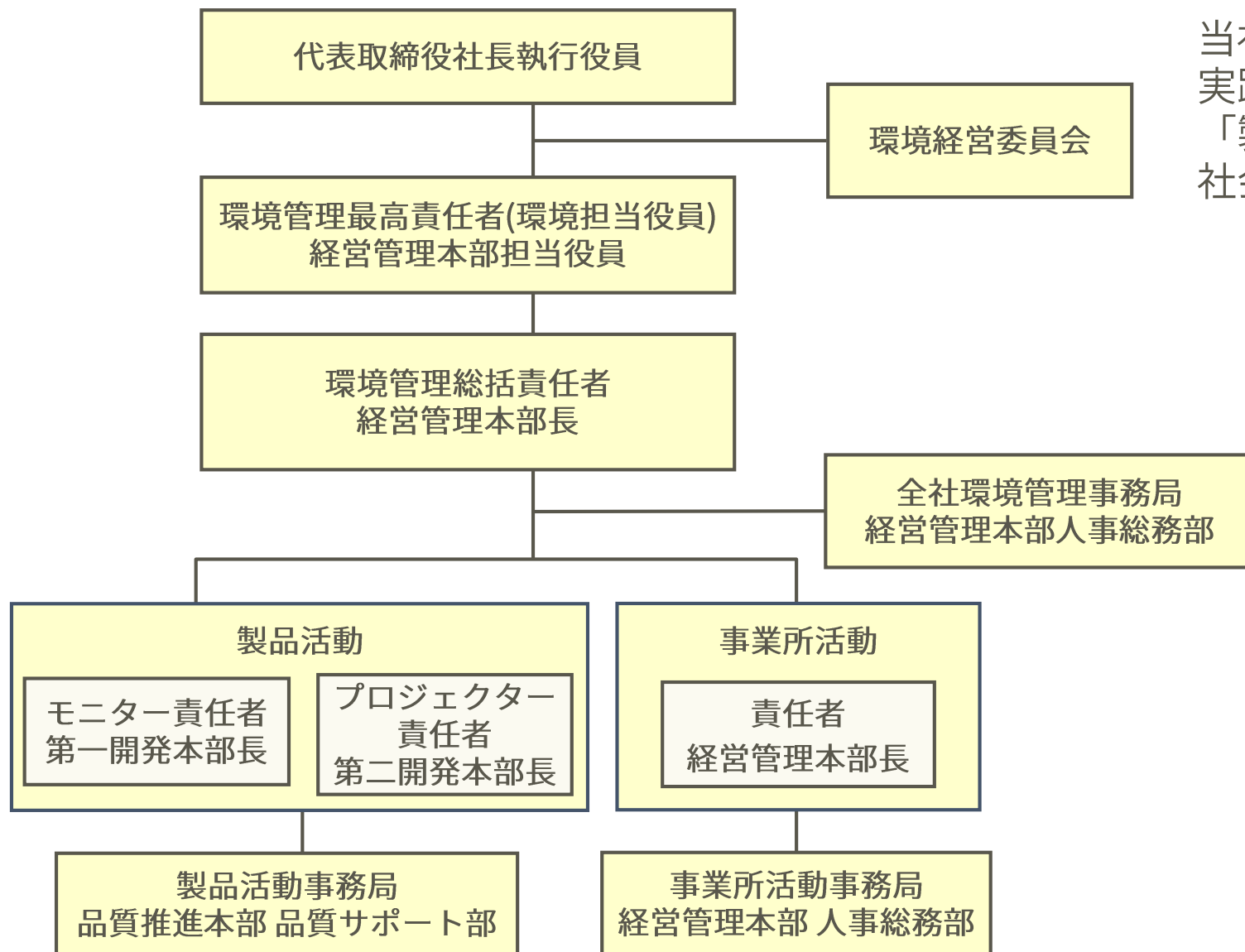
NECのビジネスPCセクションメニューで選択可能な
液晶ディスプレイを豊富にご用意いたしました。



特殊用途向け（15型）

セキュリティ、工作機器監視表示機、産業機器監視表示機、情報端末、
会計端末、金融端末など、さまざまなニーズに応える産業用ディスプレイ。

当社では、環境方針（環境理念・行動指針）を実践する体制として、社長のリーダーシップのもと、「製品活動」と「事業所活動」を軸に持続可能な社会実現の貢献に向けて取り組んでいます。



当社は、環境マネジメントシステムに関する国際規格であるISO 14001を取得しています。

2020年度にNECグループから離脱後、外部認証機関であるJQA（一般財団法人日本品質保証機構）の審査基準に基づく登録分割審査を受審し、当社単独で認証を取得致しました。

今後も同機関の定期監査を毎年受審し、環境マネジメントシステムの前進に取り組めます。

《当社の環境ISOの変遷》

- 1997年 NEC湘南テクニカルセンターとしてISO 14001認証取得
- 2007年 NECディスプレイソリューションズとしてISO 14001認証更新
- 2017年 改正版ISOへの改訂
- 2020年 シャープNECディスプレイソリューションズとしてISO 14001認証取得



当社の製品活動においては、主力商品であるモニター／プロジェクターの環境配慮型設計を目標として取り組みました。
2022年度の実績は、いずれの目標においても達成することが出来ました。
2023年度の目標は、更なる製品環境性能の向上を目指し、各評価項目のより高い目標値の達成を推進することと致しました。

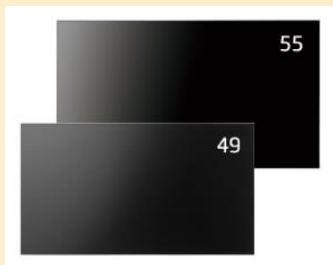
指標	活動項目	2022年度 目標と実績	指標	活動項目	2023年度 目標
製品における環境負荷の低減	環境配慮型設計を推進	GPガイドラインに基づくGPポイント※：50pt以上 ⇒実績：○ 全ての対象製品(全7機種)で、50pt以上を達成 ※GPガイドラインに定める7つの評価項目の達成度 1.省エネ/創エネ 2.省資源化 3.リサイクル性 4.安全に使用・処理 5.グリーンマテリアル/デバイスを使用 6.電池・包装・取説等の環境配慮性 7.環境配慮性性能/情報を見える化	製品における環境負荷の低減	環境配慮型設計を推進	GPガイドラインに基づくGPポイント※：60pt以上 ※GPガイドラインに定める7つの評価項目の達成度 1.省エネ/創エネ 2.省資源化 3.リサイクル性 4.安全に使用・処理 5.グリーンマテリアル/デバイスを使用 6.電池・包装・取説等の環境配慮性 7.環境配慮性性能/情報を見える化
	法規要求事項の順守	欧州REACH新規禁止物質：C9-C14 PFCAs スイスORRChem条例新規禁止物質：PFHxS 非含有の確認及び、代替化100%完了 ⇒実績：○ ODM及び量産部品の対象物質の非含有確認 同上の一部含有品の生産終了		著しい環境側面への対応	製品開発における以下の取り組み ①製品使用時の省電力化 ②小型化・軽量化（大型製品の重量等の最適化） ③バージンプラスチック使用量削減

注）○：達成度100%以上、△：達成度80%以上、×：達成度80%未満（ISO14001における不適合：目標達成率80%未満（評価：×））

シャープ独自の環境基準に基づく製品アセスメントにシフトし、製品の環境配慮設計を推進してまいります。
NECブランド製品においては、従来通り、NECの製品アセスメント基準を満たす製品設計を継続しております。

■ディスプレイ製品の環境配慮設計

OUNシリーズ



■人感センサ

人の動きを感知して、画面や音声を自動的に**ON／OFF**します。表示コンテンツの切り替えや画面の輝度、音量の調節等の細かい設定も可能です。

■外光センサ

内蔵センサが周囲の明るさを検知して、自動的に画面の輝度を調整します。

OMAシリーズ



■パワーマネジメント機能

パソコンの入力信号がないときは、自動的に休止状態に入り、省エネに貢献します。

■CO₂削減量表示

輝度設定を下げることで削減された消費電力をCO₂排出量(kg)に換算して積算表示します。

OMシリーズ



■グリーン購入法の対象

消費電力・動作再開機能・特定化学物質等の基準値を満たしている一部の製品が対象です。

■プロジェクター製品の環境配慮設計

OME / MCモデル



■エコモード

明るさを若干抑えることで、ランプの交換時間の延長／消費電力の低下し、環境負荷低減に貢献します。

■スタンバイモード「省電力設定」

スタンバイ時の消費電力を削減できます。天吊り設置等、主電源をオフにできない場合に役立ちます。

OPシリーズ



■エコマーク認定

財団法人 日本環境協会から認定される基準に適合。環境負荷が少なく、環境保全に寄与すると認められています。

OPAシリーズ



■グリーン購入法の対象

重量・消費電力・光源・保守部品等の供給期間・特定化学物質等の基準値を満たしている一部の製品が対象です。

※上記機種は一例です。また、機種により備えている機能が異なります。詳細はカタログをご参照ください。
※上記機種は、GPガイドライン適用対象外です。

「資源の有効な利用の促進に関する法律（改正リサイクル法）」に基づき、使用済み当社製品の回収と再資源化システムを構築し、リサイクルを推進しています。
不用品として回収された製品は、素材ごとに分解しリサイクルを行い資源の有効利用を行なっています。



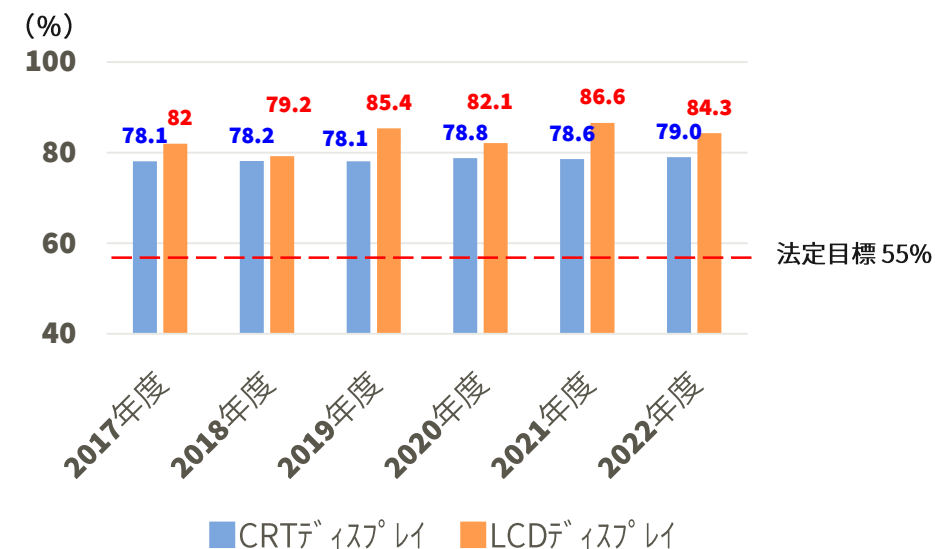
①マテリアルリサイクル
圧縮した素材を溶融し、
建築材などの資材として
再利用する。



②サーマルリサイクル
圧縮した素材を燃焼し、
熱エネルギーとして
再利用する。



当社製品の資源再利用率推移



CRT、LCDディスプレイは、資源再利用率として法定目標(55%以上)が定められております。

○国内におけるリサイクルシステムの詳細は当社HPをご覧ください
<https://www.sharp-nec-displays.com/jp/environment/recycle/index.html>

持続可能な社会を目指し、環境に配慮した製品を提供していくため、環境負荷の少ない材料・部品・製品等を優先的に調達・購入する「グリーン調達」に取り組んでいます。

「グリーン調達」推進のために、当社はシャープグループとNECグループの両基準に準拠しています。

○当社ホームページにグリーン調達ガイドラインを掲載しております。

<https://www.sharp-nec-displays.com/jp/environment/supply/guideline.html>

グリーン調達（お取引先向け）

お取引先の皆様へ

グリーン調達について、
当社はシャープグループとNECグループの両基準に準拠しています。

- ▶ シャープグループの基準
- ▶ NECグループの基準

＜欧州REACH規制・スイスORRChem条例への対応実績＞

以下の各規制における新規禁止物質への対応として、
当社製品のサプライヤ調査を実施致しました。2022年12月までに一部の部品を除く禁止物質の非含有の確認と、2023年3月までに一部含有品の生産終了の対応を完了致しました。

- 欧州REACHの新規禁止物質：C9-C14 PFCAs
- スイスORRChem条例の新規禁止物質：PFHxS

当社の事業所活動においては、環境負荷に与える影響が高いと評価される項目に目標を定め、取り組みを行っています。
2022年度の実績は、いずれの目標においても達成することが出来ました。
2023年度の目標は、更なる環境負荷低減を目指し、各評価項目のより高い目標値の達成を推進することと致しました。

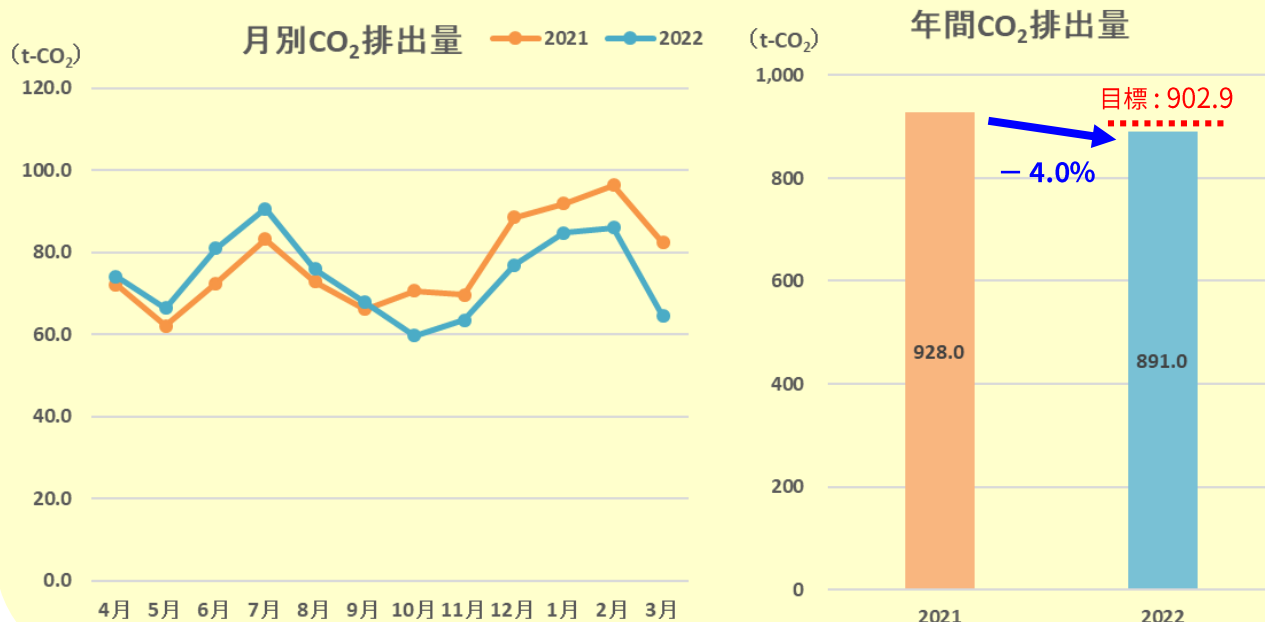
指標	活動項目	2022年度 目標と実績	2023年度 目標
気候変動 対策の推進	CO ₂ 排出量の削減	CO ₂ 排出量を2021年度実績より2.7%削減する ⇒ 目標：902.9t-CO ₂ ⇒ 実績：○ 891.0t-CO ₂	CO ₂ 排出量を2021年度目標より4.2%以上の削減とする ⇒ 目標：889.0t-CO ₂
資源循環、 省資源の推進	廃棄物排出量の削減	年間18.1%以上の産業廃棄物の有価率を達成する ※2026年度の有価率30%達成に向け、 年度毎に段階的に有価率を向上させる ⇒ 実績：○ 22.3%	年間24.2%以上の産業廃棄物の有価率を達成する ※2026年度 有価率30%達成に向け、 年度毎に段階的に有価率を向上させる
環境経営前進 への取り組み	経営トップがリードする 環境経営の実践 環境イベントの立案と実施 環境教育の実施と受講率100% 環境情報へのアクセス改善	経営トップメッセージの発信 マネジメントレビューの実施とレビュー内容の発信 環境意識向上のためのトピックス発信・イベント実施 環境標準類の更新/見直し 環境教育の計画的な実施 環境活動イントラの改変 ⇒ 実績：○ 全ての活動実施	経営トップメッセージの発信 マネジメントレビューの実施とレビュー結果の発信 環境意識向上のための環境月間等の実施（トピックス発信・イベント） 環境教育の計画的な実施 環境標準類の更新/見直しの適宜実施

※○：達成度100%以上、△：達成度80%以上、×：達成度80%未満（ISO14001における不適合：目標達成率80%未満（評価：×））

エネルギー使用量削減活動

2022年度のCO₂排出量は、年度を通して、目標達成に加え、前年度実績を下回る891.0t-CO₂に抑えることが出来ました。

2022年度は、様々な製品の開発が佳境を迎えたことで開発品及び製品の実験・評価に使用する実験設備の稼働率は、前年度と比べて高くなりました。一方で、天井灯の一斉消灯の実施による照明の電力消費量の削減や、特に冬季の気候の影響でガスを使用した空調の稼働率が低く抑えられました。
結果として、前年度から約4%のエネルギー使用量削減につながりました。



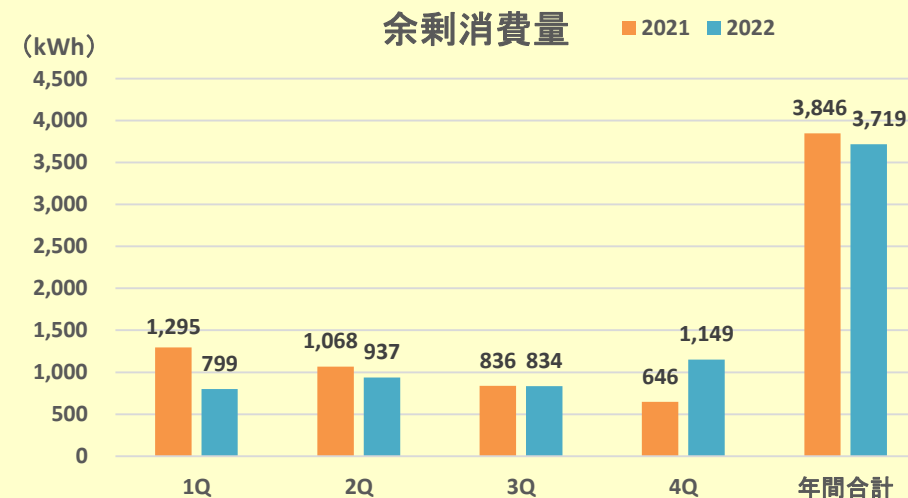
～活動例～ 天井灯の一斉消灯活動

天井灯の一斉消灯活動とは、毎週金曜日と毎月給与支給日に、通路を除く事務所フロアすべてを消灯するというものです。

2022年度は、環境月間である6月に一斉消灯を毎日実施しました。これにより、第1四半期は、前年度比で約38%もの余剰消費量を削減することが出来ました。

また、実施当日の社内放送・掲示物により、年間全体では前年比約3%の余剰消費量を削減することが出来ました。

活動結果の報告



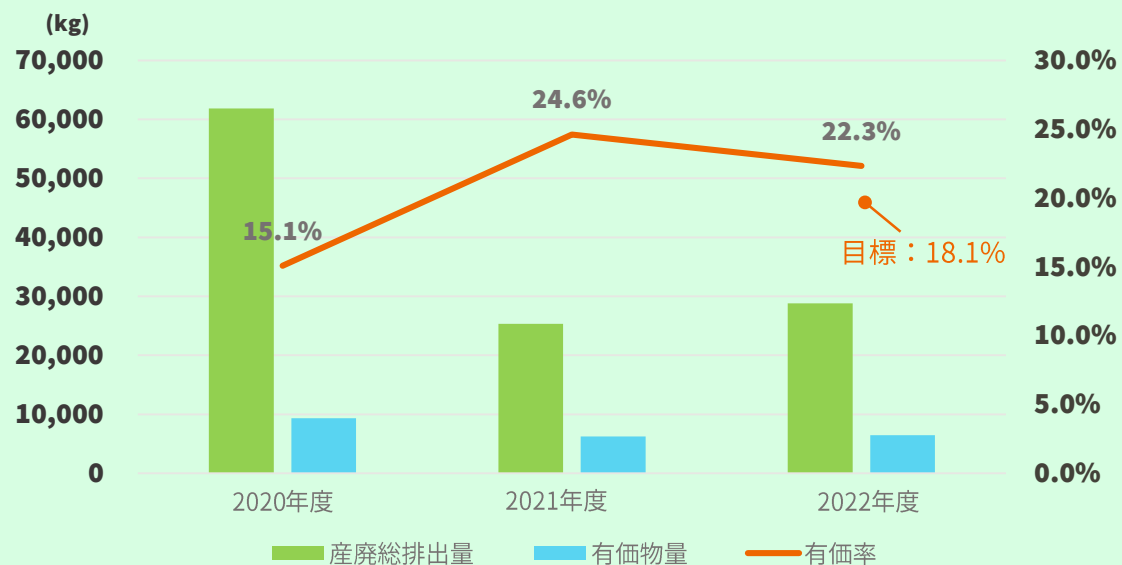
※余剰消費量・・・従業員が不在のエリアで照明が消灯されなかったことによる無駄になってしまった電力使用量の事。

廃棄物排出量削減活動

2022年度の産業廃棄物総排出量に対する有価率は、目標を上回る22.3%を達成することが出来ました。

達成できた要因として、上期に事業所全体で入れ替えた固定電話の有価物としての業者引き取りを実現したことや多数・大型の不要開発品の分別のため、倉庫エリアを一時借用したことによる作業効率改善がありました。この他にも、一般廃棄物の分別効率化によって、間接的に産業廃棄物の分別工数を確保し、有価率の向上を図りました。

産廃・有価物排出量と有価率の推移



※組織改正等の特殊要因による廃棄物・有価物は除外して算出しています。
 ※2021年度から産廃総排出量が半減しているのは、2021年以降は固定資産の一斉廃棄は不実施・2021年5月に事業所内の保守部品倉庫を別拠点の倉庫へ移管したことで廃棄物が削減されたため。

～活動例～ 有価率の向上

当社は、湘南テクニカルセンターの事業所内に廃棄物の分解専用エリアを設けています。各職場で発生した廃棄物をここに持ち込み、常駐の廃棄業者に分解・分別してもらうことで、有価物を取り出し、廃棄物削減につなげています。

このエリアに持ち込まれる廃棄物は、主に評価・実験が完了し不要となった開発品です。開発品は分解された後、廃棄物の種類ごとに分けられます。このうち、貴金属類が含まれる基板や金属部品、銅線類等有価物として業者に引き取られます。

＜分解専用エリア＞

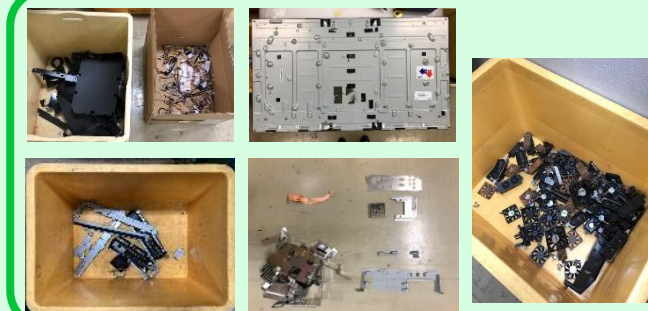


このエリアで、開発品を分解・分別しています。

＜開発品分別の一例＞



種類別の廃棄物に分別されます。



<環境啓発コンテンツの発信>

2022年度は、環境方針に「持続可能性・生物多様性に関する項目」を追加し、新たに制定しました。これに伴い、事業所周辺の生き物・植物を紹介するコンテンツを従業員向けに発信し、更なる環境意識の啓発を図りました。

[SDGs・環境に関する特設イントラHP]

Sustainable Development Goals=SDGs
～2030年に向けた17の目標～

皆さんは、SDGs（エス・ディー・ジーズ、持続可能な開発目標）をご存知ですか？
生活の中のちょっとした気づきや取り組みが私たちの未来を大きく変えるかもしれません。皆さんの中で少しでも気づきが生まれ、活動のヒントが得られるよう、SDGsに関する情報を発信していきます。

2021年度 内容	2022年度 内容
第1回 ▶ SDGsを知っていますか？	第1回 ▶ STC周辺の生き物と環境～鮎～
第2回 ▶ SNDS（私たち）に関わるSDGsとは？	第2回 ▶ STC周辺の生き物と環境～酒匂川のおスプレイ？～
第3回 ▶ ゴミか？資源か？～廃棄物の行方を追う～	第3回 ▶ STC周辺の生き物と環境～豊かな自然の紹介～
第4回 ▶ 省エネから広がる世界	第4回 ▶ STC周辺の生き物と環境～環境を守るためにできること～
第5回 ▶ クリーンキャンペーンもSDGs！	
第6回 ▶ SDGs2021 振り返り	

Sustainable Development Goals=SDGsとは？
これからの私たちを含む将来世代が安心して生活するために実現不可欠な、持続可能でよりよい世界を目指すための国際目標です。2030年までの達成に向けた17のゴール・169のターゲットから構成され、地球上の「誰一人取り残さない」ことを誓っています。

SDGsの17のゴールを分かりやすく示した図です。クリックすると、紹介ページをご覧いただけます。



2022年度は、全4回のコンテンツを発信しました。生物の多様性を保護することで貢献できるSDGsの目標も併せて紹介しています。

[生き物・植物の紹介コンテンツ（一部）]

STC周辺の生き物と環境

鮎について

<説明>
遼んだ緑豊かな川に生息する淡水魚で、川底の石に付着した藻類を主食とします。特に水質の良い河川に生息し、スベレやフナのような魚がするといわれており、「香魚」とも呼ばれています。

河川で過ごす時期は、約1平方メートルのなわばりを作り、侵入者を厳しく攻撃します。この習性を利用して、「友釣り」と呼ばれる日本独特の釣り、一定期間、一部の河川で楽しまれています。

<生態>
・サケ目アユ科アユ属
・分布：北海道西部以南の日本各地、朝鮮半島、台湾、中国
・体長：約20～30cm
・主食：川底の石に付着した藻類

★酒匂川の鮎釣り情報
毎年、6月～9月に酒匂川でも鮎釣りが解禁されます。この近辺では、富士見橋付近に、鮎釣りをするために必要な「道徳証」の取扱店があります。
詳しくは、酒匂川漁業協同組合に必ずご確認ください。

STC周辺の生き物と環境

おスプレイ（ミサゴ）について

<説明>
ミサゴ（鶯）は、荒廃・川・湖の近くに生息する猛禽類タカ目の1種。大木や崖の上などに木の枝を集めて、巣を作る。大型で翼が長い・尾は短い・脚が白いなど、特徴がはっきりしており識別しやすい。鳥だけを主食としていることから、「鳥獣」とも呼ばれている。

捕食の仕方が独特で、一定高度空中でホバリングし、獲物を見つけたら目を瞬間的に伸ばして一気に突進して狩りをする。環境省レッドデータブックでは、準絶滅危惧種に指定されている。

★学名：Osprey（オズプレイ）
・軍用機として仲間に配置されている「Osprey（オズプレイ）」は、ミサゴの英名を名前の由来です。機体の飛行の仕方が、ミサゴが捕食する際にホバリングする様によく似ていることから、命名されました。

<生態>
・タカ目ミサゴ科
・分布：北海道から沖縄にかけての海岸、川や湖の近く
・体長：約54～64cm（翼長157～174cm）

STC周辺の生き物と環境

環境を守るためにできること

・買収後、環境に配慮した行動や言葉を紹介します。キーワードとして頭の片隅に置いていただき、ふとした時に実践したり、購入するときの判断基準にしたいと幸いです。

・エシカル消費：人や社会、環境に配慮した商品（例えばフェアトレード品や地産地消品）を選んで購入する消費行動のこと。英語のethical（倫理的・道徳的）が語源。

・アップサイクル：本来捨てられるはずの製品にデザインや機能等のアイデアといった新たな価値を与えて再生すること。例えば、トラックを守る（とばり）から、メッセージカードを作るなど。

・小田原で見つけたアップサイクル商品：紙製かまぼこ「CRIS」
商品説明：紙製で作っている紙製かまぼこは自然と燃える。廃棄物入る紙製かまぼこの廃棄物から作られた。

まずは身近な環境を守ることを意識して、行動してみよう！

全4回コンテンツのテーマ

	内容
第1回	STC周辺の生き物と環境～鮎～
第2回	STC周辺の生き物と環境～酒匂川のおスプレイ？～
第3回	STC周辺の生き物と環境～豊かな自然の紹介～
第4回	STC周辺の生き物と環境～環境を守るためにできること～

当社は、従業員の環境意識高揚と、環境活動に主体的に取り組み、持続可能な社会に貢献できる人材を育むために、環境イベントや教育を毎年実施しております。

毎年6月を「環境月間」と定め、従業員の環境意識向上を図るため、環境に関する情報発信やイベントを開催しています。2023年度のテーマは、「自分ゴト化した環境意識の第一歩」でした。

- 環境月間HPによる情報発信
- 環境担当役員からのメッセージ
- 電力実績・産業廃棄物実績の報告

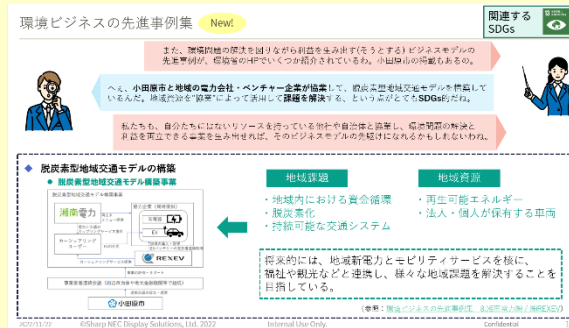
■ 環境月間アクションメモリー



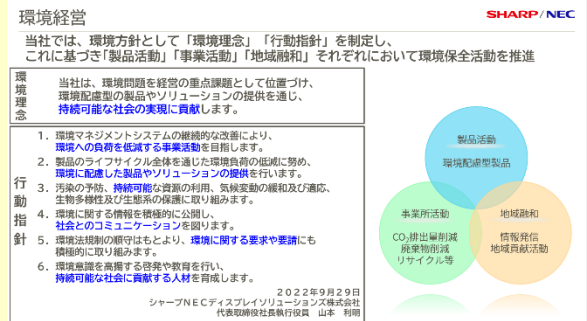
環境に配慮した行動を日常生活の中で実践する、従業員参加型のイベントです。従業員の皆さんが主体的に取り組めるよう、行動のうち一つは、自身で考えた内容の実践になっています。

毎年1回役員も含む全従業員を対象とした環境基礎教育を実施しています。また、新入社員・中途採用者・派遣受入社員の入社時に環境基本教育を実施し、環境意識の定着化を図っています。

■ 従業員への環境基礎教育



■ 新入社員等への環境基本教育



■ 廃棄物削減行動

- ＜こまめに廃棄物を持ち込む＞
使用しなくなった試作品や備品は、廃棄業者にこまめに持ち込んでください。業者に廃棄物を分別してもらうことで、廃棄物排出量の削減につながります。※持ち込みのタイミングについては、事前に廃棄業者に受け入れ状況をご確認下さい。※固定資産を廃棄する際は、所定の手続き等が必要のため、各部門の上司や固定資産担当にご確認下さい。
- ＜きちんと分別＞
ダストルームで廃棄する際、表示に従って分別することで、廃棄業者がより大型の廃棄物を分別する時間を確保でき、廃棄物の削減になります。
- ＜持ち込み廃棄物にゴミを詰めない＞
発泡スチロールなどの穴に、細かいゴミ(包装紙やテープ等)を詰めないでください。取り出す作業に時間がかかるためです。

廃棄物に関してお困りのことがあれば、お気軽に人事総務部までご相談下さい！

当社主導のもと、NEC湘南テクニカルセンターに事務所を構える関係会社も参加し、地域貢献活動及び各社の従業員の環境意識向上を目的とし、事業所近辺の清掃活動を毎年行っております。5月に地域（大井町）主催の酒匂川統一美化キャンペーンへ参加、10月・3月に近隣高校と共同開催でクリーンキャンペーンを実施しております。この活動によって、直近5年間※で約700kgものゴミを回収しました。

（※2020年3月～2022年3月においては、感染症拡大防止・雨天のため、いずれも中止致しました。）

清掃活動が雨天により連続で中止となったため、2023年度においては関係会社含め、独自に事業所周辺の清掃活動を行いました。



（写真は、2023年6月実施時のものです。）



近隣高校との共同開催
(クリーンキャンペーン)
共通の通勤/通学経路を
ごみを拾っています



（写真は、2018年度実施時のものです。）

当社の環境配慮活動が評価され、開発拠点湘南テクニカルセンターを構える大井町の「おおいまちSDGsパートナー」に選ばれました。

おおいまちSDGsパートナーとは？

「SDGs達成に向けて、持続可能なまちづくりをするため、町とともにSDGsの普及活動に取り組める企業・団体」のことです。



■SNDSの取り組み

1. 環境配慮型製品の開発（製品使用時の消費電力の削減）
2. 産業廃棄物の分別徹底（リサイクル部品などの取り出し）
3. 海・陸の豊かさを守る（清掃活動・映像表示装置によるペーパーレス普及）

■貢献するSDGs目標



外部リンク：[大井町SDGs宣言制度「おおいまちSDGsパートナー」](#)



ご質問／ご意見等をお寄せください

ご質問／ご意見等がございましたら、お手数ですが
下記のお問い合わせ先からお寄せください。

■発行元

シャープNECディスプレイソリューションズ株式会社 経営管理本部

■所在地

〒258-8533

神奈川県足柄上郡大井町西大井686-1 NEC湘南テクニカルセンター

■本報告書の対象範囲

- ・対象期間 2022年度（2022年4月～2023年3月）
- ※一部2023年度の活動内容も記載

■発行年月：2023年8月

■お問い合わせ先

<https://www.sharp-nec-displays.com/jp/contact.html>

「その他、シャープNECディスプレイソリューションズに関するお問い合わせ」よりお願い致します。

■弊社ホームページ

日本国内向サイト <https://www.sharp-nec-displays.com/jp/>

グローバルサイト <https://www.sharp-nec-displays.com/global/>

SHARP / NEC

シャープNECディスプレイソリューションズ株式会社